



平成 27 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司  
( J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士  
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

### 平成 27 年 3 月期通期（連結・個別）業績見通しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結および個別業績につきまして  
は現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますと  
ともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいた  
します。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期の業績見込みおよび業績との差異

##### (1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (平成 26 年 3 月期) (A)	4,975	553	620	445
当期実績見込み (平成 27 年 3 月期) (B)	4,806	439	471	430
増 減 額 (B - A)	△169	△114	△149	△15
増 減 率 (%)	△3.4	△20.5	△24.0	△3.4

##### (2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (平成 26 年 3 月期) (A)	637	272	247	243
当期実績見込み (平成 27 年 3 月期) (B)	695	363	337	332
増 減 額 (B - A)	58	91	90	89
増 減 率 (%)	9.0	33.4	36.3	36.5

## 2. 差異が生じた理由

### (1) 連結業績見込み

当連結会計年度のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が現れましたが、輸出や生産が次第に持ち直し、公共投資も高水準を維持するなかで、企業の設備投資が緩やかな増加傾向となり、持続的な回復基調をたどりました。

商品市況は、原油が世界需給の緩和により下落し、エネルギー市場全体が影響を受けました。貴金属はドル高の進展から、穀物は米国の豊作による需給緩和から国際価格が下落しましたが、円安の進展から総じて国内価格の変動が抑えられたこともあり、全国市場売買高は46,028千枚（前年同期比95.1%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は4,175百万円（前年同期比94.0%）となりました。また、売買損益につきましては、商品売買取引が増加したこともあり、77百万円の利益（前年同期比148.5%）となりました。

この結果、営業収益は4,806百万円（前年同期比96.6%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、4,366百万円（前年同期比98.7%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は439百万円（前年同期比79.5%）、経常利益は471百万円（前年同期比76.0%）、当期純利益は430百万円（前年同期比96.6%）をそれぞれ計上する見込みであります。

### (2) 個別業績見込み

個別業績につきましては、関係会社受取配当金298百万円（連結業績に与える影響はございません。）を計上したことなどにより、営業収益は695百万円（前年同期比109.0%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては331百万円（前年同期比90.8%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は363百万円（前年同期比133.4%）、経常利益は337百万円（前年同期比136.3%）、当期純利益は332百万円（前年同期比136.5%）をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上